

地方都市視察報告書

福祉健康委員会

1 実施日

平成27年10月15日（木）

2 視察地 香川県坂出市

【市の概要】

(1) 面積 92.46 km²

(2) 人口・世帯数（平成27年9月1日現在）

人口 52,982人

世帯数 21,449世帯

(3) 坂出市はその昔、久米栄左衛門の大開拓事業により、塩田の基礎が築かれ、以来全国でも有数の塩田のまちとして栄えてきた。これにともない商工業が栄え塩の積み出し港として、四国屈指の貿易港を持つまちとしても発展してきた。

しかし、長年坂出を支えてきた塩田も度重なる塩業整備や技術革新によって姿を消し、代わって本市沖合約1kmに横たわる巨大な州（浅瀬）であった「番の州」を埋め立て、香川県下最大の番の州工業地帯が造成された。坂出市は、この臨海工業地帯によって瀬戸内工業圏の中核都市として重要な位置を占め、これらにあわせて整備された坂出港により、瀬戸内海における海上交通の要衝としてさらに発展してきた。

平成4年には四国横断自動車道が瀬戸大橋と連結し、坂出は本州と四国を結ぶ高速道路網の四国側の玄関となる重要な拠点となり、米子・高知間の南北地域連携軸のちょうど真ん中に位置する地理的特性を十分に活かし、坂出市は「瀬戸内の交流拠点 活力とふれあいの坂出」を目指したまちづくりを進めている。



3 視察項目・内容

(1) 認知症初期集中支援チームの取り組みについて

4 視察参加者

【委員】

野もとあきとし委員長 桑原羊平副委員長 木もとひろゆき委員

小野 裕次郎委員 志田 雄一郎委員 中村 しんいち委員

吉住 はるお委員 沢田 あゆみ委員

【随行】

議会事務局議事係 濱野 智子

5 視察結果・所感

香川県坂出市の高齢化率は 32.6%で新宿区よりも 12 ポイントほど高い状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）。坂出市では日常生活圏域ニーズ調査や基本チェックリストの結果より、認知症または認知症のおそれがある高齢者は 65 歳以上に約 3.5 人に 1 人という推定を行い、認知症の早期発見・早期対応のため、平成 26 年 11 月から「認知症初期集中支援チーム」の取り組みを開始した。事業内容としては、「普及啓発推進支援事業」や「認知症初期集中支援の実施」、「認知症初期集中支援チーム検討委員会の設置」を行っている。

認知症初期集中支援では、特に医師会との連携が重要であり、かかりつけ医の先生方との連携をいかにスムーズに行っていくかが鍵である。

新宿区は平成 28 年 4 月に「認知症初期集中支援チーム」の設置を予定しており、今回の視察は大変に参考となった。

6 主な質疑項目

- (1) ひとり暮らし高齢者のみまもりから認知症事業への繋げ方について
- (2) 生活支援サービスの進捗状況について
- (3) 徘徊メール配信のサポートへのメール送信方法について
- (4) 認知症支援事業の拡充について
- (5) 「気づき」ができる体制づくりのための「認知症検診」の実施について
- (6) 認知症カフェの増設の見通しと市の支援内容について
- (7) まいこまいこ（徘徊）高齢者お帰り支援事業における企業等との協力・連携の具体的な内容について
- (8) 小学生認知症サポーターの就任における学年等の範囲について
- (9) 認知症サポーター事業の市外への広まりについて

7 その他

【共同視察者】福祉部高齢者福祉課長 齊藤 正之

